

# 日勝半島「楽しい」

## 台湾から初ツアー

日高と十勝の9市町村（帯広、幕別、中札内、更別、大樹、広尾、浦河、様似、えりも）を「日勝半島」と銘打ち、広域観光圏としての可能性を探るモニターツアーが24日に始まった。

台湾からの観光体験調査員6人が域内を回り、乗馬やパークゴルフ、結婚式体験などを楽しんでいる。

域内の商工会などで構成する「日高東部・十勝南部広域連携推進協議会」（会



幸福駅で「ハッピーセレモニー」を体験するツアー参加者

長・高橋勝垣帯広商工会議所会頭）が新たな観光圏を確立し、インバウンド（訪日外国人旅行者）需要を取り込もうと初めて企画した。道内旅行者が多い台湾客を無料で招待。体験後すぐにSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で情報発信してもらい、市場の反応を探り課題などを抽出する。

旅行は10回以上、帯広も今回で2回目という李夫妻は「フェイスブックを通じ、この楽しさを多くの人に伝えたい」と話していた。

一行は29日に帰国。台湾

最大の日本観光情報サイト「樂吃購（ラーチーゴー）」のライター、顧珍珠さん（35）も同行しており、ツアー体験記を同サイトに掲載予定。（佐藤いづみ）

一行は浦河をスタートし、26日に十勝入り。大樹で砂金掘り、幕別でパークゴルフなどを体験した後、モール温泉に入り、トマト収穫も行った。28日は午後から帯広入りし、幸福駅で会員の李台勇さん（46）、黄淑勤さん（42）夫妻が正装で「ハッピーセレモニー」を体験。参加者はそれらの様子をスマートフォンなどで撮影していた。日本への